

**第二次八代市行財政改革実施計画  
(アクションプラン) の取組報告**

**平成30年7月**

**八代市総務企画部企画政策課**

# 目 次

1	実施計画における取組項目の実施結果	1
2	実施計画における終了、削除、引継ぎ項目	2
3	実施計画による効果額	2～3
	（1）歳入増加効果額	2
	（2）歳出削減効果額	3
4	総括	3
	<b>取組項目の実施状況一覧</b>	<b>5～53</b>
	平成29年度までに実施、達成、終了した項目	5～6
	第一次計画から継続して推進している項目	7～8
	平成29年度時点で一部実施・試行・調査段階の項目	9
	第二次アクションプランにおいて未達成だった項目	10～11
	（戦略1）行政戦略【効率的・効果的な事業運営と市民サービスの向上】	12～25
	（戦略2）財政戦略【歳入・歳出の見直しによる財政の健全化】	26～39
	（戦略3）組織戦略【市民に分かりやすく、かつ成果を上げる組織】	40～41
	（戦略4）人財戦略【市民とともに未来を描きチャレンジする職員の育成】	42～47
	（戦略5）協働戦略【情報の共有と市民協働の推進】	48～53
	<b>目標効果額に係る取組項目の一覧</b>	<b>55～60</b>

## 第二次八代市行財政改革実施計画（アクションプラン）の取組報告

### 1 実施計画における取組項目の実施結果

市では、平成23年4月に策定した「第二次八代市行財政改革大綱」による行財政改革を推進するに当たり、「量から質の行財政改革への転換」を実現するための186の取組項目とそのスケジュール等を盛り込んだ「第二次八代市行財政改革実施計画（アクションプラン）」（以下「第二次アクションプラン」という。）を策定しました。そして、各事業を着実に実施することで、八代市総合計画の着実な達成を行財政面から支援してきました。

取組結果については、全186の取組項目のうち、148項目（全体の約80%）が達成となり、残りの38項目（約20%）については未達成となりました。未達成となった主な項目では、行政戦略における「部の人事・予算機能の強化」や「業務の民間委託」など行政組織内部の課題解決に向けた取組として、優先順位が下位に位置づけられたため、取組が進んでおりません。また、組織戦略における「グループ制の導入」などについては、先進自治体の事例について効果検証を行った結果、制度の是非まで決定に至らなかったことから未達成となったものです。

改革の柱	戦略	取組項目数	累計目標達成件数 (目標達成率(%))							未達成項目数
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
① 行政運営力の向上 (行財政運営の改革)	行政戦略	63	17 (26.9)	22 (34.9)	29 (46.0)	31 (49.2)	34 (54.0)	36 (57.1)	42 (66.7)	21 (33.3)
	財政戦略	64	41 (64.0)	45 (70.3)	47 (73.4)	48 (75.0)	53 (82.8)	54 (84.3)	55 (85.9)	9 (24.1)
② 組織力の向上 (組織人材の改革)	組織戦略	9	4 (44.4)	4 (44.4)	4 (44.4)	4 (44.4)	5 (55.6)	5 (55.6)	6 (66.7)	3 (33.3)
	人材戦略	25	20 (80.0)	21 (84.0)	21 (84.0)	21 (84.0)	21 (84.0)	22 (88.0)	23 (92.0)	2 (8.0)
③ 地域力の向上 (市民協働の推進)	協働戦略	25	9 (36.0)	10 (40.0)	15 (60.0)	17 (68.0)	21 (84.0)	21 (84.0)	22 (88.0)	3 (12.0)
合計		186	91 (48.9)	102 (54.8)	116 (62.3)	122 (65.6)	134 (72.0)	138 (74.2)	148 (79.6)	38 (20.4)

## 2 実施計画における終了、削除、引継ぎ項目

達成した取組み148項目のうち76項目を普遍的な取組みとして第三次八代市行財政改革実施計画（以下、「第三次アクションプラン」という。）へ引き継ぎ、併せて未達成の取組み38項目のうち24項目を引き継ぎました。一方で、第二次アクションプランまでに取組みが終了したものが72項目、未達成ながら第三次アクションプランへ引き継がれず、削除されたものが14項目となりました。

	取組項目	終了・削除項目	第三次アクションプランへの引継ぎ項目
達成項目	148	72	76
未達成項目	38	14	24

## 3 実施計画による効果額

《計画期間における実績効果額：5,388,312千円》※対H22年度比

第二次アクションプランでは、歳入増加、歳出削減の効果額が算出可能な34の取組項目について、目標効果額を定めて、その達成に向けて取組を進め、新たに実績見込みとして設定し、より一層積極的な取組を図ってきました。

その成果として、計画期間における実績効果額は、歳入増加と歳出削減を合わせて5,388,312千円となり、目標効果額の4,961,421千円を上回る成果を上げました。なお、歳入及び歳出ごとの効果額は以下のとおりです。

(1) 計画期間における歳入増加効果額：2,705,752千円※対H22年度比

歳入増加額については、下水道使用料等の見直しなどによる自主財源の確保、ふるさと納税の推進による収入増等により、目標効果額の「2,314,138千円」を上回る「2,705,752千円」の歳入増加実績を上げることができました。

戦略	重点事項		歳入増加効果額(単位:千円) ※対H22年度比							計
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
行政戦略	アウトソーシングの積極的な活用	目標	0	0	0	20,000	0	0	0	20,000
		実績	0	0	0	20,000	0	0	0	20,000
財政戦略	自主財源の確保	目標	119,680	153,708	179,515	196,748	148,352	158,088	160,588	1,116,679
		実績	119,680	153,708	179,515	196,748	143,961	229,141	257,400	1,280,153
	市有財産の有効活用	目標	0	0	0	351	351	1,584	2,151	4,437
		実績	0	0	0	351	351	1,991	2,151	4,844
	新たな収入の検討	目標	1,950	5,642	2,932	5,159	31,200	51,200	61,500	159,583
		実績	1,950	5,642	2,932	5,159	43,306	247,278	173,110	479,377
	歳出の見直し	目標	67,860	90,649	129,728	150,012	176,730	191,730	206,730	1,013,439
		実績	67,860	90,649	129,728	150,012	139,585	148,121	195,423	921,378
【 合 計 】		目標	189,490	249,999	312,175	372,270	356,633	402,602	430,969	2,314,138
		実績	189,490	249,999	312,175	372,270	327,203	626,531	628,084	2,705,752

(2) 計画期間における歳出削減効果額：2,682,560千円※対H22年度比

歳出削減額については、議員定数の適正化や市立病院の委託料、材料費の見直し等により、目標効果額の「2,647,283千円」を上回る「2,682,560千円」と歳出削減実績を上げることができました。

戦略	重点事項	歳出削減効果額(単位:千円) ※対H22年度比 上段:目標(H23~H29) 下段:実績(H23~H29)								
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
行政戦略	事務事業の見直し	目標	388	13,209	14,599	18,263	19,106	18,263	18,918	102,746
		実績	388	13,209	14,599	18,263	19,272	18,429	19,838	103,998
	アウトソーシングの積極的な活用	目標	735	270	1,242	13,029	55,412	55,037	55,037	180,762
		実績	735	270	1,242	13,029	55,412	56,585	57,454	184,727
	定員管理の適正化	目標	105,000	252,000	294,000	336,000	336,000	336,000	336,000	1,995,000
		実績	105,000	252,000	294,000	336,000	322,000	273,000	203,000	1,785,000
財政戦略	新たな収入の検討	目標	0	0	0	0	0	0	24,206	24,206
		実績	0	0	0	0	0	0	24,206	24,206
	歳出の見直し	目標	22,685	34,259	43,403	61,028	61,726	62,027	59,441	344,569
		実績	22,685	34,259	46,874	67,240	84,648	150,657	178,266	584,629
【合計】		目標	128,808	299,738	353,244	428,320	472,244	471,327	493,602	2,647,283
		実績	128,808	299,738	356,715	434,532	481,332	498,671	482,764	2,682,560

#### 4 総括

第二次行財政改革において、第一次行財政改革で推進してきた「量的改革※<sup>1</sup>」に取り組みつつ、「質的改革※<sup>2</sup>」にも重点を置き、改革を推進してきました。

その結果として、取り組みについては以上のとおり、着実に成果を上げてきました。

平成30年度からの第三次行財政改革においては、これまでの行財政改革の取組みである「量的改革」を基本として、第二次行財政改革で推し進めてきた「質的改革」について、さらに強化・継続して推進していきます。

また、未達成の取組項目についても、社会情勢の変化等を踏まえて見直し、引き続き取り組んでまいります。

※1 「量的改革」・・・歳入増加、歳出削減、職員定数の適正化などの効果が数量で表せる改革。

※2 「質的改革」・・・限りある行政資源（予算、人材、資産）を効率的に活用していく改革。  
例えば、市民サービスの充実、人材育成、市民協働の推進などの取組があげられる。